

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	農業農村整備事業（畑地帯総合土地改良事業）					
地区名	いらかぎ 伊良湖2期地区					
事業箇所	たはら なかやま にしやま 田原市中山町、西山町					
事業のあらまし	<p>本地域は、愛知県南部の田原市に位置し、キャベツ、レタス等の露地野菜を主に作付けする畑地帯であり、営農及び施設の維持管理が一体的に行われている。</p> <p>地区内の用水路は、造成後45年以上経過しており、老朽化が激しく維持管理に非常に苦慮していた。</p> <p>また、多くの道路は狭小であり、未舗装の区間も多く残されており、農作物の荷傷みを生じている路線も見受けられ、営農に支障をきたしていた。</p> <p>このため、用水路及び道路施設の整備を行い、農業経営の安定化を図ることを目的とし、畑地帯総合土地改良事業を2009年度から実施し、2015年度に完了した。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>畑地帯の農業生産基盤の整備を行い、営農の効率化と農業経営の安定化を図る。</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費		内訳			
	6.5億円		■工事費 6.0億円、■用補費 0.2億円、■その他 0.3億円			
事業期間	採択年度	2009年度	着工年度	2009年度	完成年度	2015年度
事業内容	用水路工 19.6km 道路工 21.3km					
II 評価						
事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	【達成状況】				
		老朽化した用水路の改修により、配水機能も向上していることから、地区内の主要作物はほぼ計画どおり作付けされている。				
		また、各施設の維持管理費についても、事業実施前に比べ軽減されている。				
		主要作物の作付面積				
		区 分	計 画 (2008)	現 在 (2020)		
		キャベツ	131ha	132ha		
		ブロッコリー	32ha	31ha		
		レタス	27ha	26ha		
		スイカ	24ha	24ha		
		施設の維持管理費				
		区 分	計 画 (2008)	現 在 (2020)		
		用水路	215 千円/年	200 千円/年		
		農道	2,761 千円/年	2,350 千円/年		
		【達成状況に対する評価】				
		老朽化した用水路を改修したことにより、用水の安定供給が図られ、主要作物が概ね計画どおり作付けされるとともに、維持管理費用も軽減されており、本事業は農業経営の安定に寄与していると評価できる。				

	2) 副次目標の達成状況	【達成状況】 — 【達成状況に対する評価】 —
Ⅲ 対応方針		
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画どおり達成されているため、今後の事後評価は不要である。	
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画どおり達成されているため、改善措置は不要である。	
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画、工法で施工しているため、同種事業に反映すべき事項はない。	